

学校だより

南の空

<http://www.city-okayama.ed.jp/~konans/>



令和3年4月30日

第2号

岡山市立岡南小学校

自らがやこうとする子どもを育てる

目指す子ども像は、がんばる子 やさしい子 支え合う子

本校の学校教育目標は、「自らがやこうとする子どもを育てる」です。この学校教育目標は、令和元年度に「かがやいている子どもを育てる」から変更したものです。これからは、AIが人の仕事のほとんどをこなす世の中がやってきます。予測できない未来に対応するためには社会の変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して、一人一人が自らの可能性を最大限に発揮し、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していくことが大切です。今までの学校教育目標に「自ら」という言葉を書き加え、子ども主体の目標にしました。10年先、20年先の未来を生き抜く子どもを育てていきたいと思っています。学校行事の中、授業の中、委員会活動の中と様々な場面で子どもたちが主体的に意欲をもって取り組んでいけるように支え、指導していくことが職員の役割と思っています。コロナ禍となり、その活動が昨年は十分行えず子どもたちの自己有用感や自己肯定感を高めることができませんでした。今年度もコロナ禍ではありますが、昨年培った経験をもとに安全に留意しながら、できる限りの体験を子どもたちに積ませてやりたいと願っています。また、このコロナ禍だからこそ浮かんでくる子どもたちのアイデアや思いを生かしていけるような活動を子どもたちとともに実践していく1年にしたいと思っています。

保護者の皆様も参観日や様々な学校行事の中で子どもたちを見守り、励ましていただけるようお願いいたします。保護者の方の理解と協力が学校を支える大きな力となりますので、どうかよろしくようお願いいたします。

ぴかぴかの1年生が入学

4月12日(月)入学式がありました。今年度もコロナ禍のため参加者は、1年生と保護者、職員でした。昨年度同様の少しさみしい入学式になるところでしたが、本年度は6年生からのビデオメッセージがあり、1年生も嬉しそうにスクリーンを見ていました。朝の登校では、上級生が1年生のお世話をしながら一緒に歩く様子から一つ大きくなった自覚がしっかりと見られました。19日(月)からは、給食も始まり、牛乳のふたを上手に開けておいしそうに給食を食べていました。23日(金)は、1年生を迎える会があり、テレビ放送での集会の後、6年生のお兄さんお姉さんに運動場で遊んでもらいました。最高学年の6年生は、1年生にとって一番大きくて信頼できるお兄さんお姉さんです。これからも登校、給食、そうじなど様々な場面で1年生を助けてくれると思います。

★きらりかがやく岡南っ子★



岡山県児童生徒新春競書大会
特賞 6年 山本 陸



新学期になってすぐに始まった給食の準備や片付けに活躍する6年生の給食委員。ほんとうに助かります。



下校見守り ありがとうございます

昨年度から PTA の運営委員を中心に子どもが一斉下校になる日に合わせて下校見守りをしてくださっています。この取組に賛同していただける保護者の方が次々と子どもたちの下校時刻に合わせて学校へ来校くださり、子どもたちと一緒に下校してくださっています。4月5月は入学したばかりの1年生が下校しますので、この見守りが子どもたちにとっての安心になっています。

5, 6年生の海の学校

4月27日(火)5,6年生が合同で海の学校へ行ってきました。今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策により1学期は、宿泊なしの活動となりました。各学級で1台のバスにゆとりをもって乗車し、各学級1艘でカッター訓練を行いました。1本のオールを3人でもつの



ですが、息を合わせるはとても大変でした。日帰りの研修となりましたが、天気にも恵まれ昨年中止になっていた6年生も元気に参加することができました。

新型コロナウイルス感染防止対策にご協力ください

全国の主要都市では、新型コロナウイルス感染の第4波が広がっています。緊急事態宣言も出ている都市もあります。ゴールデンウィークに入り、人の移動も多くなることと思います。外出されるときは、感染予防を心がけるようにお願いします。

学校では、子どもたちに息苦しいときや熱中症の心配があるときを除いて常にマスクをつけることと手洗いをを行うことを指導しています。長く続くこの状況からマスクを忘れる、検温をしないなどの気の緩みが見られることもあります。マスクの効果は、昨年度インフルエンザの感染者0という結果からも大きいことがわかります。どうか、外出するとき、学校に登校するときは、マスクを着用するように子どもの方にもお声かけをお願いします。

今後も感染拡大が続くと、学校教育へも影響があるかもしれません。ぜひ、身近なところから感染防止対策を心がけましょう。